



健康白書 2024

FUJI OIL Health and Wellbeing Report

「健康」の世界に確かな価値を

目次

- 0 2 不二製油グループ健康経営推進宣言
- 0 3 不二製油が目指す健康経営の姿
- 0 4 自身で目指す健康の姿
- 0 5 健康で広がる幸せの輪
- 0 6 「健康」を文化に 目標とする社員像
- 0 7 不二製油の健康経営戦略
- 0 8 健康施策 1
- 0 9 健康施策 2
- 1 0 地域を巻き込んだ活動
- 1 1 健康経営の取り組み結果

不二製油グループは、あらゆる人と地球の健康に最大限貢献していくために社員の健康維持・増進を目指します

不二製油グループ 健康経営推進宣言

「植物性素材でおいしさと健康を追求し、サステナブルな食の未来を共創します」

とグループ憲法のビジョンに掲げています。

健康は本人・家族の幸せだけでなく、企業力を高める重要な要素であり、不二製油グループは積極的に健康経営に取り組むことを宣言します。健康経営は従業員の健康と幸せを第一義の目的と考えており、従業員がイキイキと元気に働くことが企業価値の向上につながります。健康経営で最も重要なことは、自分の健康は自分で守るという各人の健康意識です。私たちは健康意識を持ち、「清く、正しく、明るく、元気に」働きます。

そして、人のために働き、人の問題を解決して、企業としての社会貢献を推進します。健康経営の推進にあたり、従業員の健康維持・増進を図る施策・支援を進めています。具体策としては、生活習慣病の予防、メンタルヘルス不調の予防、体力増進活動などに取り組んでいきます。

不二製油グループ本社株式会社
代表取締役社長 酒井 幹夫

全従業員が健康であってこそ、 不二製油のビジョンは実現できる

健康経営は、従業員の皆さんの健康と幸せを第一義の目的としています。

また、グループ憲法では

「植物性素材でおいしさと健康を追求し、サステナブルな食の未来を共創します」

をビジョンとして掲げており、不二製油全従業員一人一人が健康であってこそ、このビジョンが実現できると考えています。

従業員の健康維持・増進を図る施策・支援として生活習慣病対策、メンタル不調予防をさらに進めていきます。

そして、従業員はもとより、あらゆる人と地球の健康に貢献していきます。



不二製油株式会社
代表取締役社長 大森 達司

健康経営優良法人 ホワイト500に認定

不二製油は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業として、経済産業省および日本健康会議による認定制度「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」に、2017年より6年連続で認定されています。





不二製油が目指す「健康経営」の姿



健康とは身体的な健康だけではなく精神的な健康、さらに人間関係や生活、社会との関わりなどから得られる幸福感も大切と考えています

内容豊富な健康診断による安心の健康管理



「29歳以下健診」「成人病健診」「人間ドック」など年齢別に豊富な検査を実施しています。健診結果についてはシステム管理を行い、その年の数値による判定だけではなく、数年間の経過も加味した会社独自の健診判定を行っています。また二次健診 100%受診を目指し、健康寿命を延ばすことを目標に医療・保健スタッフによる関わりを充実させています。

ヘルスリテラシーを向上させ、一人一人が自分で自分の健康を守るように



定年前だけではなく、定年後の社員の健康増進を実現するためには、医療者からのケアだけではなく、自分で自分の健康を管理できる「健康に対する意識・知識」が必要です。常日頃より健康に対する知識が身についていくよう、社内での教育を充実させます。

周りを頼って、心の健康も大切に



自分の不調に気づくためのセルフケア、周囲が気づいて声をかけてあげられる「ラインケア」を基本に医療・保健スタッフによる関わりで不調の早期発見、体調回復を目指します。保健スタッフから医療機関へのスムーズな連携も行っています。また普段からいつでも保健スタッフが相談に乗れる体制や社内カウンセリング、また社外でのカウンセリングの体制も整えています。色々な形でのサポートを用意し、また休業中の方へも早期改善・再発防止を目標にサポートを行っています。

従業員はもちろん、家族も大切に



従業員が「健康」を保つためには、家族も健康であることが大切だと考えています。家庭のことで悩んでいる従業員の相談も聞き、その後のことまで一緒に考えます。病気の悩みであれば医療・保健スタッフが、専門的な医療機関の紹介やその後のことまであわせて一緒に考えます。



バランスの
いい食事

適度な運動

良質な睡眠

健康は年齢によってその「認識」が変わっていきます。

加齢に伴う変化の中でも、我々が考える「健康」に必要なことを再認識する必要があります。

健康とは「病気ではない」ことではありません。

まず肉体的、精神的、社会的に満たされていることが基本となります。

そのために必要なことを提案します。

- ① 加齢に関係なく、健康に「動ける」こと
- ② 社会的なつながりが充実していること
- ③ 好きなことを楽しめること

健康を守るために必要な「知識」「認識」「方法」を会社が提供します



健康診断などをもとに自身の健康状態を一緒に見直していきます。



定期的な勉強会を開催し、健康に必要な知識の提供を行います。



定期的な健康イベントを開催し、「方法」を具体的に提案します。



健康で広がる 幸せの輪

健康であることが誰のためになるのかは非常に重要です。

自分自身のためというのはあたり前ですが、
健康は自分だけのためのものではありません。

自分が病気になったら困るのは、心配になるのは、苦勞するのは自分だけではありません。

健康は会社のためではありませんが、会社は従業員の健康を望んでいます。
それは一人一人がかけかえのない存在であり、一緒に働いていく仲間だからです。



病気と向き合っていくのは非常に大変です。

「労力」「時間」「お金」「心」を少しずつ奪われます。
支えあうことも大切ですが、自立し支えあうことで届く願いは大きくなります。

健康とは自分自身のためのものですが、

自分の「大切な人」「仲間」のためのものにもなります。
だからこそ、不二製油では従業員の健康保持・増進に努め、
さまざまなサポートを行います。



健康であることを 会社の文化に

健康で得られる大事な資産があります

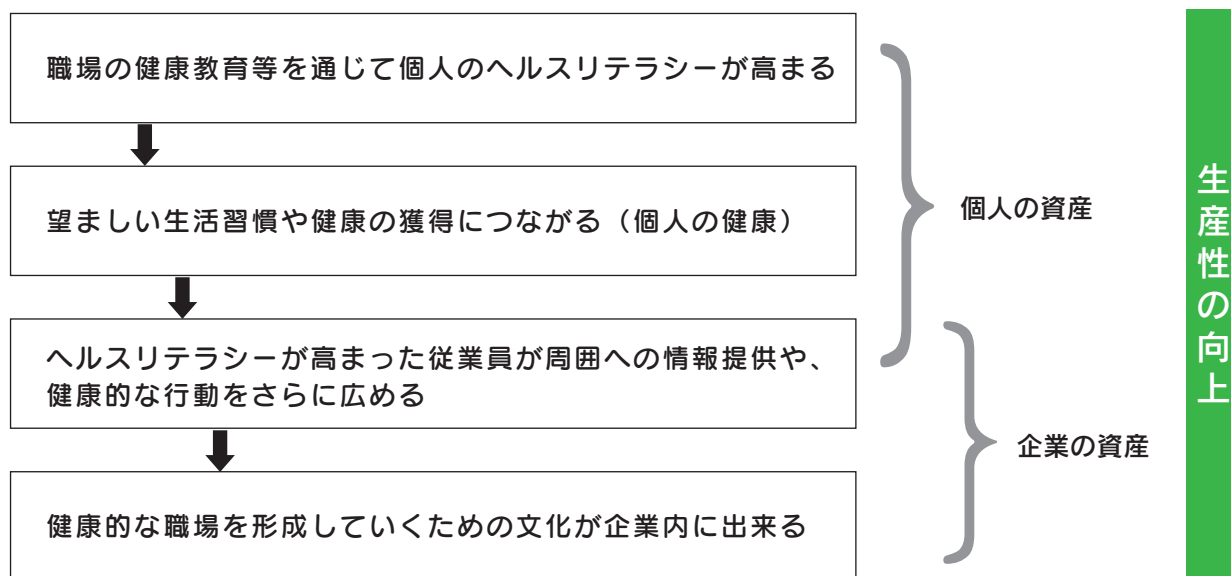
大切な従業員の健康を守ることで、会社としての価値を高めていきます

ヘルスリテラシーの向上を目指す

生涯を通じて成長できる資産（個人）

生涯を通じて成長させられる資産（企業）

「健康情報にアクセスし、理解し、使える能力」



目標とする人材像

我々が目指す「健康」を実現するために、従業員に求める姿とは？



理解する

- ・ 健診結果を理解し、説明できる
- ・ 不二製油の健康指針について理解し、お客様に説明できる
- ・ 自分に必要な医療、食生活、運動習慣について理解し説明できる
- ・ メンタルヘルス、セルフケアについて理解し、説明できる



考える

- ・ 健診結果から、その後の自分がやるべき健康法を考えられる
- ・ 不二製油の製品を使った自分の生活にあった健康法を考えられる
- ・ 健康的な習慣を実践し継続するための工夫を考えられる
- ・ セルフケアとして出来ることが何か考えられる



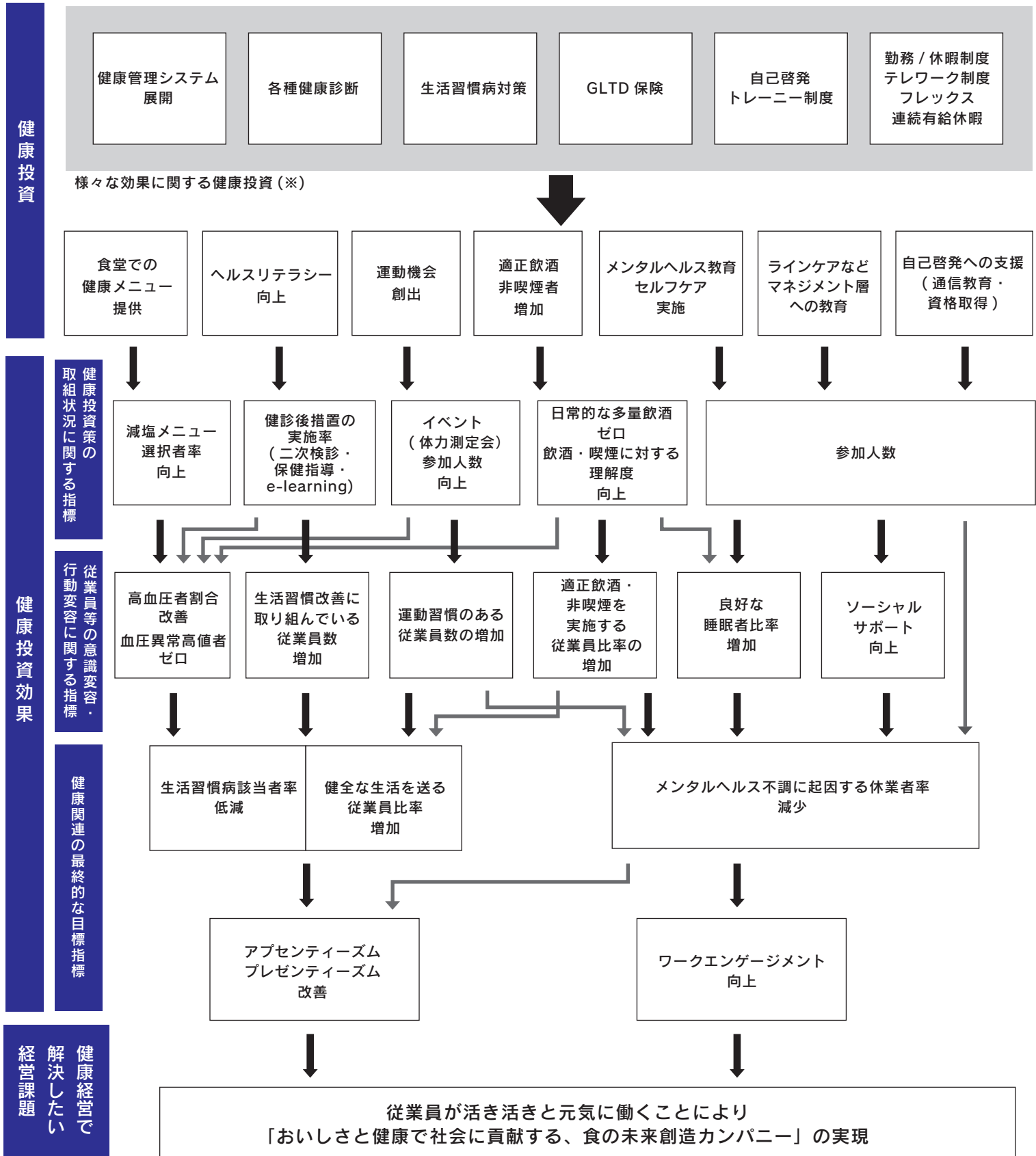
行動する

- ・ 健診結果から、生活習慣の改善や必要な精密検査・治療を行う
- ・ 実際に健康的な習慣を実践し継続する
- ・ 困ったときには周囲に相談できる。医療機関とつながることができる



健康経営戦略

不二製油では、健康経営で解決したい経営上の課題に対して、健康経営の実施により期待する効果や具体的な取り組みのつながりを図示しています
 つながりを整理するツールには、経済産業省が策定した「健康投資管理会計ガイドライン」で公表されている「戦略マップ」を活用しています



(*) 基本的に「健康投資」と「健康投資施策の取組状況に関する指標」は1対1で対応する。しかし、中には複数の「健康投資施策の取組状況に関する指標」に対応する「健康投資」も存在するため、そのような「健康投資」を「様々な効果に関連する健康投資」とする。

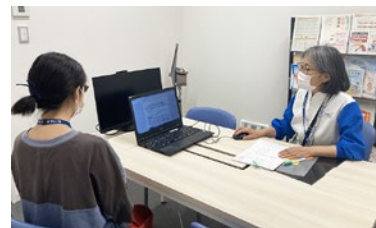


健康施策 1

健康経営に関するさまざまな取り組み・施策をご紹介します

各種相談窓口の設置

健康管理室では、栄養相談・睡眠相談・女性の健康相談・家族の健康相談など各種相談窓口を設置し、従業員をサポートする体制を整えています。外部機関と連携し、個人が特定されることなく婦人科・不妊等の無料相談や無料検査を受けられるようにしています。



ライフキャリアカウンセリング

産業カウンセラー・キャリアコンサルタントが常駐し、従業員のライフキャリアサポートを行います。自己キャリアメイキング、仕事と治療の両立、ワークライフバランス、業務内容や人間関係、ハラスメントなど、従業員は自由につでも相談できます。キャリア採用者とは入社3か月後に面談し、不二製油の全従業員がそれぞれ活躍できるようサポートしています。



ヘルスリテラシー向上施策

健康管理室前に本棚を設置し、医療・健康に関する「書籍」「漫画」をそろえています。従業員は休憩時間に自由に読むことができ、身構えることなく、健康知識を得られる環境を整えています。



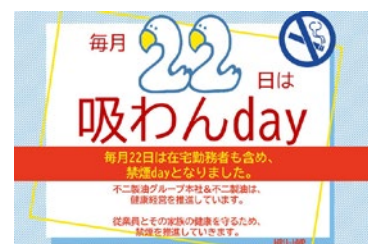
衛生講話

2023年に「健康白書」を発行し、従業員に対する健康経営指針を明確にしました。この白書をベースにした「健康とは何か」をテーマに、産業医による衛生講話を開催。「身体的・精神的・社会的・いきがい」を大切にこそ、不二製油の目指す健康は実現するということを伝えています（受講者100名超）。2024年7月には「高血圧について」をテーマにした衛生講話を開催し、80名以上の従業員が参加しています。24年秋には、不妊治療についての講話を予定しています。今後も定期的に衛生講話を行い、従業員のヘルスリテラシー向上に努めていきます。



禁煙

2022年度より、毎月22日を「吸わんデー（禁煙デー）」に設定しています。従業員には伊藤忠連合健康保険組合のオンライン禁煙プログラムへの参加を呼びかけ、24年度春は5名が参加しています。秋も募集していきます。また、健康で生産性の高い職場環境の実現に向けて、東京支社では2024年7月1日より就業時間内全面禁煙を実施しています。



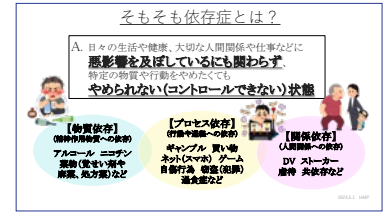


健康施策2

健康経営に関するさまざまな取り組み・施策をご紹介します

健康コラム

従業員に知っておいてほしい健康知識や、従業員の健診結果に基づいたデータ統計などを「健康コラム」にまとめ、毎月社内イントラネットや事業所内サイネージに掲載しています。各事業所安全衛生委員会では医療スタッフがコラムの内容を深掘りして説明し、従業員のヘルスリテラシー向上に繋げています。



運動

伊藤忠連合健康保険組合のウォーキングキャンペーンが行われ、2023年秋は31名、2024年春は32名が参加しました。

2024年5月には「さつきラン&ウォーク2024 企業対抗戦」に参加し、DOスポーツ賞を受賞しました。



運動機能測定会

2023年度より、大阪河崎リハビリテーション大学の健康づくりの専門家に来ていただき、腰痛予防などを目的として体組成、ロコモチェック、柔軟性、握力などのヘルスチェックを半年ごとに行っています。全国平均と比較すると、柔軟性が非常に低いことが判明し、柔軟性向上のためのストレッチング研修会も実施しました。

2024年5月は、腹筋など測定項目を追加し、147名が参加しました。測定後、個々にアドバイスをいただき、自身のカラダを知る機会となっています。今回は、筋力が低下している人が多いことがわかり、筋力アップのストレッチング研修会を実施しました。今後も半年毎に測定会を行い、普段なかなか測定できない『今』の筋力や柔軟性を継続的にチェックし、改善する場としていきます。



Inbody の設置

従業員の高齢化や変則的な働き方による生活習慣病（メタボリックシンドローム）の予防、自身の体成分を把握する手段として、2023年度より阪南事業所の健康管理室内にInbodyを設置しています。自分の体の現状を知り、従業員自身が健康増進へさらに意識向上を図れるように取り組んでいます。



自社製品を活用した健康メニューの提供

2022年度に関東工場、千葉工場、阪南事業所内に設置している食堂を全面リニューアルし、食の面からも従業員の健康をサポートしています。

大豆ミートなどの自社製品を使ったメニュー（F-lunch）を提供し、愛社精神の醸成につながるだけでなく、食習慣改善意識の向上や、人と地球の健康にも貢献しています。





地域を巻き込んだ活動

健康経営に関するさまざまな取り組み・施策の中からいくつかをご紹介します

マルシェ

不二製油は、農業を通じて社会貢献活動（就労困難者就労支援・障がい者雇用）を進める株式会社 泉州アグリ を応援しています。毎週木曜日の夕方に阪南事業所内でマルシェを展開し、その日採れた新鮮な野菜を販売しています。2024年度は新入社員も一緒にトウモロコシの作付けを行いました。新鮮な野菜で、従業員の健康と地産地消で地域への貢献につながることを狙っています。



つげさんプロジェクト

貝塚市、大阪河崎リハビリテーション大学、不二製油が共同で取り組むフレイル・ロコモ・認知症予防プロジェクトです。地域在住高齢者への自助・共助・公助を具現化した取り組みとして評価され、数々の賞を受賞しています。



健活おおさか推進府民会議

「おおさか健活10推進プロジェクト」に賛同し、サイネージやポスターで啓蒙しています。健活10〈ケンカツテン〉とは、大阪府が推進する、生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、府民に取り組んでいただきたい「10の健康づくり活動」です。



食育活動

次世代を担う子どもたちに、世界の食糧問題や食の大切さを学び、人と地球の健康を考える「食育プロジェクト」を2014年度から放課後NPOアフタースクールと協働で実施しています。

また、大豆・パーム・カカオの不二製油3大主原料を題材に「身近な食を通して持続可能な世界を考える」講義を、教育機関やイベントで行っています。



看護実習の受け入れ

2023年度より、地元の専門学校の看護学生実習を受け入れています。2024年は4日間で、8名の学生に学んでいただきました。

健康管理室内での医療スタッフの業務の見学や、従業員へのインタビューを通して、実際に社会で働く人々への看護の役割を学ぶ場を提供しています。





健康経営の取り組み結果

社員の健康に関する取り組み状況を、KPIを設定したうえで評価します
 統合的に分析した社員の健康データは健康施策のPDCA実行や、各事業所における、
 健康をサポートする職場づくりにも役立てます。

	目標		2019	2020	2021	2022	2023
	年	目標					
01 ストレスチェック受検率		100%	95.3%	94.9%	93.1%	92.8%	94.2%
02 高ストレス者割合			6.9%	5.9%	10.7%	8.6%	9.1%
03 喫煙率	2025	15% 以下	24.1%	19.3%	20.1%	20.1%	19.1%
04 定期健康診断受診率		100%	100%	100%	100%	100%	100%
05 二次検診受診率		100%	96.0%	93.0%	98.6%	95.7%	95.3%
06 適正体重維持者率 (BMI 18.5-24.9)			67.6%	68.4%	67.8%	70.2%	68.2%
07 特定保健指導実施率			28.2%	37.1%	38.9%	36.8%	-
08 特定保健指導対象者割合			21.7%	18.8%	19.2%	16.0%	-
09 特定検診受診率 ※1			96.0%	94.2%	100.0%	100.0%	100.0%
10 保健指導実施率		100%	96.3%	126.1% ※3	99.3%	99.4%	100%
11 適正血圧維持者率 ※2			53.7%	53.9%	52.5%	56.5%	62.2%
12 多量飲酒率 (60g/日以上)		0%	9.2%	7.6%	6.2%	1.2% ※4	2.0%
13 健全な睡眠習慣率 (睡眠時間6~7時間以上/日、且つ日中の眠気がない)						30.0%	30.5%
14 アプセンティーズム (傷病による休業日数総数)			2013 日	1290 日	2654 日	3141 日	3782 日
15 プレゼンティーズム による生産性損失割合 ※5						36.5%	21.7% ※5
16 事業所内ワクチン接種回数 (インフルエンザ・新型コロナウイルス)			インフルエンザ 901	インフルエンザ 950	インフルエンザ 749 コロナワクチン 1回目 1266 2回目 1264 3回目 1018	インフルエンザ 634 コロナワクチン 4回目 553	インフルエンザ 536

※1：除外対象は海外駐在、妊産婦、6か月以上の長期入院等
 ※2：収縮期血圧 \leq 120mmHgかつ拡張期血圧 \leq 80mmHg
 ※3：2020年度のみ、対象者への指導延べ数
 ※4：2022年度よりアンケートの質問内容改訂
 ※5：2022年 WHO-HPQ 2023年 東大1項目版

 不二製油